

准教授 宮川 睦巳 / 鋼構造学研究室

主な研究内容と目指す将来像

近年では、インフラ設備の劣化損傷による老朽化問題が着目されています。さらに自然災害の増加によって異常な力によって、構造物が同時多発的に深刻な損傷を負う機会が増えています。私たちの研究室では、人々の命と生活を守ることをテーマに、レジリエンス強化（災害に強い街作り）に関する研究を行っています。

研究キーワード

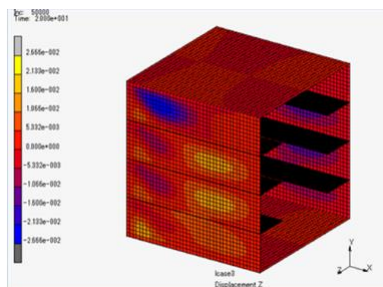
橋梁工学／鋼構造学／弾性学

研究の魅力・面白さ

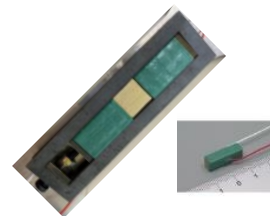
- ✓耐震・制震技術では、地震に強い構造を学べる分野です。
- ✓腐食・疲労の研究は、人々に長く使ってもらえる技術を学べます。
- ✓AI技術を使った損傷検知、損傷度評価は注目している分野です。
- ✓力を加えると光る材料、力を加えると電気が発生する材料など、新機能材料を使って構造物の健全性を評価しています。



コンクリートの破壊発光



解析ソフトによる研究

圧電アクチュエータによる
応力制御装置

履修しておきたい推奨科目

土木構造力学Ⅰ(2年前期)、土木構造力学Ⅱ(2年後期)、鋼構造学(3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

せっかく学んできたたくさんの知識をどう活かしていくか、それを考えることが大人としての第一歩です。次はその知識を知恵として活かし、人間が自然と調和し、安全・快適に過ごすことのできる技術と一緒に学びましょう。

連絡先

miyagawa@maebashi-it.ac.jp